



見沼たんぼの水辺と自然

「見沼たんぼ」とは…

- 見沼たんぼは東京都心から20～30キロ圏に位置し、芝川や見沼代用水が流れる広大な緑豊かな空間で、多様な動植物が生息しています。
- 見沼たんぼは約300年前に見沼代用水と呼ばれる用水路をつくり、利根川から水をひいたことで、豊かになりました。



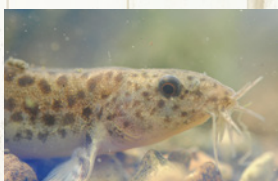
水辺にはどんな植物・生き物が住んでいるか調べてみよう!



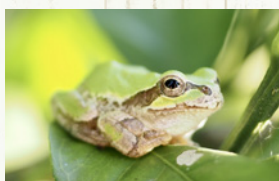
たくさんいたサギがいなくなってしまったのはなぜかな？
また、コウノトリの飛来は何を意味しているのかな？



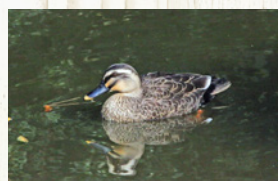
コイ



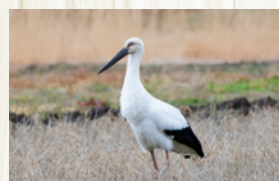
ドジョウ



ニホンアマガエル



カルガモ



コウノトリ

2020年3羽飛来しました

見沼代用水について学ぼう!



いざわ や そべえ
井沢 弥惣兵衛



見沼代用水



見沼たんぼ



見沼通船堀



トラスト保全地

見沼代用水は、今から約300年前、井沢 弥惣兵衛という人が中心となり、大勢の農民たちと協力して短い期間で水路を作り上げました。その水路を用いて見沼ため井を水田化し、「見沼たんぼ」が作られ、たくさんのお米が収穫できるようになりました。

見沼通船堀は、たくさん収穫したお米を江戸へ運ぶ役割を担っていました。また、見沼代用水に接する林は「緑のトラスト保全地」として守り続けられています。



「見沼代用水」 /さいたま市

「見沼たんぼの保全」

NPO 法人水のフォームは、見沼たんぼでの伝統農法による米づくりに取り組んでいます。



◀NHK for School 検索タイトル
「たんぼの生物と食べ物」
(3～6年総合)



NPO法人水のフォーム 代表
藤原 倂子さん



生き物が住みやすい水辺にするには
どうすればいいか、みんなで考えてみよう!



「見沼たんぼの自然」 /さいたま市

